



# 江原先生に学ぶ 校長 根岸隆尾



昨今、中学生・高校生の犯す凶悪な犯罪が、連鎖反応のように起こり、大きく取沙汰されています。彼らと同じ世代の教育に携わっている私共は、自らの存在が問われているような衝撃と苦しさを感じます。ともすれば、教育の方途を見失いがちであります。こうした衝撃的な事件が起きる度に、中高生一般に対する大人たちの目は、ある寛容さを失い、ますます厳しいものとなっていきましよう。

しかし、私は今、江原先生の教育姿勢に関するこんなエピソードを思い浮かべています。江原先生に直接教えを受け、更に母校麻布中学の教員となり、先生のもとで

生徒を教えた国文学者、随筆家の岩本素白は、こう語っています。「教師としての私共が或る悪い学生に愛想をつかして『先生あれはとも見込みが有りません』と訴える。先生は、『イヤ最う少し面倒を見てやれ』と云われる。『先生あの生徒の顔を御覧なさい、顔に不悔俊の情が現れてをります』と云うと、『イヤ顔はどうでも、最う少しの間面倒を見てやって呉れ、精神が癒えれば顔もよくなる』と云われた。私は妙な事を先生は云う、精神が矯正されたとしても顔の癖悪そうな相ままで癒せはせまいと疑ったものである。夫れが程経て其の生徒が行いを改めて精神が善良になったら、成程顔までやさしく見えて来たので、私は驚くと共に慚愧して先生の徳に感激した。」と述べています。

不断に寛容の精神を持って生徒に接し、その未来を信じて暖かく見守り続ける江原先生のご人格、その教育姿勢こそ、私共が学び、

広 報 誌  
第 3 号  
2000 年 10 月 14 日  
発 行 学 園  
麻 布 106-0046  
〒 東 京 都 港 区  
元 麻 布 2-3-29  
Tel03-3446-6541  
fax03-3444-2337

身につけねばならぬ根本的な精神でありましよう。

このような教育姿勢・精神をもつて、先生が保護者と生徒に強く求めたもの、それは、生徒が自らの力で事を行う「自治の精神」でありました。麻布中学校が現在の地に移り、新校舎が落成した明治三四年頃に保護者に宛てた文書

「保証人に注意すべき条項」の中に、服装や携帯品、例えば、一、小刀を携帯して登校せしめざるこ

と」などの諸注意の最後に、「二、独立自治の精神を養うことに注意ありたきこと」という一項目がありました。先生は、教育制度や法律が、例え完全であったとしても、

青少年に「自治の念」が欠ければ、我が国は興隆しないという信念のもとに、何事も成るべく他人にや

りませう。先生は、今日教育界はさまざまな問題をほらみ、教育改革という言葉が声高に叫ばれています。しかし、そうした言葉に踊らされることなく、変化を求めつつも先生が体現された不易の精神を一筋の光として今後も精進していきたいと思つています。(二〇〇〇年五月一九日、江原素六先生記念祭、式辞。沼津にて)

## 学級定数減・七学級で発進

この四月から、全学年各七学級体制で授業を実施している。長年の懸案であった学級定数減を、一学級五〇人から四二、三人へと少人数化する方向で検討し、従来の六学級制を改め、七学級制を実現した。かつては一学級六、七〇名の時代もあったという(〇B談)。

主に教員室棟の三、四階を改修し、採光のとれた六教室を増設した。さらに、特別教室、数学教室

などを新設した。定数減が、教員にも生徒にも良いかたちで反映されることを願っている

## 麻布学園ホームページ公開

<http://www.azabu-jh.ed.jp>

昨年五月、学園のホームページを公開した。「ホームページ委員会」を教員の中で組織し、入念な討議を繰り返し、公開するに至った。最新情報。「What's New」を始めとして、学園案内、行事案内、クラブ紹介、麻布の近況から入試要項まで、多彩なインフォメーション・サービスをを行っている。さらに、「麻布文庫」や、生徒達の研究論文等を掲載した「論集」の紹介など、現在の麻布学園についてのほぼ全貌を備蹴することができ、この十月までに、五万数千件のアクセスがあった。今後も大いに利用していただきたい。(廣瀬)

昨年八月一五日、高校二年の田中宏和君が水泳中亡くなられました。ご両親は、学園に多大なご寄付をお寄せくださいました。学園は、そのご寄付を学園の奨学金に組み入れさせていただきます。

また、同じく高校二年の富久信介君は、今春三月八日に起きた、地下鉄日比谷線の脱線衝突事故の犠牲となりました

## 富久信介 スポーツ奨学金

富久君は、中学・高校を通して、サッカー、更にラグビーに打ち込み、その部員として活躍していました。

ご両親は、学園と、この二つのクラブに多大なご寄付をお寄せくださいました。学園は、「ご両親の」

信介君の遺志を生かすために、戴いたご寄付を次のようにすることに決めました。「学園への寄付を、学園の奨学金に組み込み、奨学金貸与を認められた生徒の中から、特にスポーツに関心をもち活動している生徒一名を選び、『富久信介スポーツ奨学金』として貸与する。」有難うございました。(根岸)



天井と壁を新装した体育館

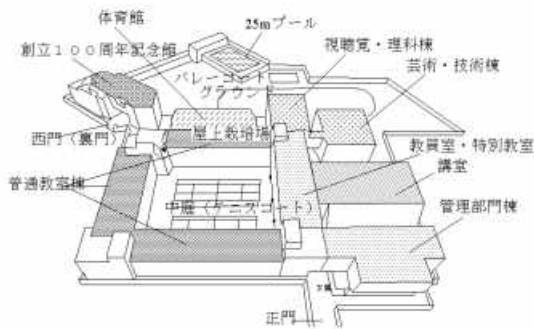


7クラス化で新設した高三教室

主に英語や社会に使われます。百周年記念棟の商況室での授業。



数学科のコンピュータ室



少人数授業にも対応する、プロジェクト付き特別教室。



### 教室風景

る英語の授業など、「今」に対応する「麻布の教室」をご覧ください (松田)

麻布生が六年間過ごす教室の風景。校舎のたたずまいは、昔とあまり変わりませんが、百周年事業や七クラス化を経て、教室の姿は少しずつ変化しています。コンピューターやビデオを用いた授業、20名程度の少人数による



お気づきですか？ 時計とビデオモニターが入りました。(中一教室)



## インタビュー 麻布旬の人

インタビュー 麻布旬の人  
 わが麻布学園の卒業生となると多士済々。その中で特に若々しく特異な活躍をしているのが旬の人。第二回はCGアートデザイナー、阿波徹さんにご登場願いました。きき手斎藤(久) 十廿利

あわとおるさん 一九九〇年(平成二年)麻布高校卒。グラフィックデザイナーを経て、現在は(株)ポリゴンビクチュアズでCGアートデザイナー。アメリカで最高に権威あるCG(コンピュータ・グラフィック)の祭典「SIGGRAPH」に「CROCOTIRES:tractionAAA」が入選。ブラジルで一等賞、カナ

(平成二年卒)

## CG作品 活躍の 阿波パトリック徹さん

でも二等賞を得る。ドイツ、オーストリアでも作品が紹介される。アメリカ、日本でのフルCG映画作りにアートデザイナーとして参加。

作品は「CROCOTIRES」、「Sky Monkey's」、「theFLYBand」、「資生堂HGスーパーハードムースノクラフド」など。

阿波さんの作品に、ペンギンを使ったヘアムースのCMがありましたね。

・あれは中学生、高校生が興味を持つようにといわれて、DJを入れたりペンギンにサングラスをかけたりました。わたしのデビュー作です。このCMで売り上げが四倍伸びたそうです。

アメリカのSIGGRAPHで高い評価を受けられましたが、どんな作品ですか。

・「CROCOTIRES」(クロコトイア)と言います。多くの山積みになった古タイヤがあって、夜になると、その中の二つが二匹のクロコイル(ワニ)に変身してボクシングをするんです。小さい方が大きい方に勝って新品のホイールをもらいます。チャンスのために頑張る二人がいてもいいかな、みたいなストーリーです。

・私の場合は、まずイメージが浮かんでそれからストーリー作りとなります。

麻布時代はどんな生徒でしたか。

・高校で吉本先生の芸術を選択しましたが、美術部に属していたわけではありません。絵を描くことは好きで、これが仕事になるのならいいな、ぐらいに考えていました。千葉大の工業意匠学科に進んだのですが、プロダクトデザイナーとしての就職は思うようにいきませんでした。

ということは、思っても見なかったCGに横から入ったようなものですね。

・そうですね。わたしは工業デザインをやったよかつた思っています。初めからCGソフトを使えるに越したことはないですが。伝統的なアニメをやったからCGに入る人もいますし、私の場合は、プロダクトデザインのバックグラウンドを、発想に生かしたりしている訳です。どこへ行ってどう勉強するかではなく、どういうことをやりたいかがだいじだと思えます。

なるほどそうですね。阿波さんはアメリカの市民権をお持ちですが今後どのようなお仕事を?

・再びアメリカに行き、世界中から集まったアーティスト達と一緒に、でかいCG映画をどんどん作りたいです。「スターウォーズ」などにデザイナーとして加わることでできれば最高ですね。ご活躍を期待します。

## 国際交流



### 各国から5名の留学生

本校では国際交流事業の一環として、留学生の受け入れを行ってきたが、今年はいままで最高の5名の留学生を受け入れた。交換留学生の提携校である英国ウィンチー・スター校からはトム・カイリー君。一昨年から本校との交流が始まった中国寧波中等専門学校からは戴靈暁君と呉挺君の二名。そして今年、国際交流団体であるYFUからスタン・トーマス君(スウェーデン)とキム・ダニエル君(韓国)が来校した。

五名は高校二年に在籍し、日本語の授業と、希望した授業を本校生徒と共に受講。個別のベ・スにあわせた時間割だが、キム君はYFUのスピーチコンテストで優勝するほど、日本語が上達した。生徒との友好も、冗談を言い合うほど良好。交流の輪を今後も広げていけることを願っている。

(松田)



二〇〇〇年高2韓国コース

## いまどきの 学年行事

”学園生活の思い出”といえ、学年行事のことを挙げられる方も少なくないでしょう。『百年史』では、明治三二年から平成六年までの旅行・行事が表にまとめられていますが、そのなかには、麻布ならではの行事も少なくありません。十月八日の「反省の日」に、相模湖遭難事故の犠牲となった生徒を追悼した後、例年、十月中旬の三・四日間が行事期間となっています。事故のないように気をつけながら、生徒の自主性を重んじた様々な行事が、各学年で行われています。今回は特集として、最近行われた行事のいくつかをご紹介します。(松田)

麻布の学年行事では、学年ごとに特徴が見られるが、最近では中学一・二年で、高尾山・箱根などへの遠足、中三は関西への二泊三日の旅行という形式が定着している。中学では行先は学年会が決めるが、内容などは生徒による旅行委員が企画することも多い。

そして、高校では、アンケートなどを行い、企画・目的地について生徒の意見が多く反映されるようになる。なかには、ユニークな企画もあり、「自衛隊を考える」(平二高一)、白衛隊を見学、防衛庁で討論会を実施)や「ナイトウオーク」(平四高一)、現代版「夜中

行軍」(け)などが、これまでに行われて



一九九八年高1ノルウェー大使館訪問

麻布高校、韓国へ・学年旅行の遠距離化

六年間の行事の中で最も規模の大きいものは、何と云っても「学年旅行」だ。かつては、学年全員が同じ地域を旅行していたが、平成二年から四国・関西など、様々なコースに分かれるようになった。また以前は、悪天候等の影響を顧慮して、移動手段として航空機は使われていなかったが、職員会議での二、三年にわたる議論を経て、平成五年の高一の北海道旅行で初めて使用された。以降、北海道・九州・沖縄など、国内各地を訪れている。

平成九年に高二で韓国コースが企画され、約四〇名の生徒が国境を越えた。訪問先は慶州、ソウル。旅行代理店との折衝には、教員と生徒代表による旅行委員があたり、単なる物見遊山に終わらせないところは他のコースと同じだが、参加者はさらに、ハンゲル語などの研修を受けている。

以降、このコースは定着した観もあるが、「近くて遠い」(『論集97』生徒投稿)国にふれて、世界観を新たにした生徒が多いようだ。

特に「大使館めぐり」は定番になりつつあるコースで、各国大使館が近隣にあるという地の利を行かして、ソ連、ドイツ、南アフリカ、コートジボアールなど、様々な大使館を訪問している。普段で味わえない大使館の雰囲気、生徒もいささか緊張気味だが、「一九六〇年代、PLOは『ハイジャック闘争』等を行ったが、それについてはどう思うか」(平二)、PLO代表部での質問)といった鋭い質問を繰り出すこともしばしば。質疑の場には通訳がいることは多いが、ある大使館では日本語が全く通用せず、英語の得意な生徒が通訳を務めた。応対に大使自らが出席する場合も多く、生徒の質問に丁寧に応答される。それを通じて交流が深くなることもあり、平成二年にはソ連大使館訪問の後、生徒の要望にこたえてシエフチエーク等書記官(当時)が来校し、生徒四〇〇余名をあつめての講演会が行われ

た。

このような行事での経験は、文集にまとめられたり、『論集』に投稿されたりして、文章を通じて共有される。そして、それらの資料をもとに、また新たな行事が企画されてゆく。

こうした学年行事にも、「麻布らしさ」があらわれているようである。

# 学園事務室から

新しい通学路「麻布十番駅」が完成

通常学校への通学路は地下鉄「広尾駅」を中心とした西側が主でしたが、今秋から年末にかけて地下鉄「麻布十番駅」が完成し、東側の麻布十番方面からも通学できるようになります。



「麻布十番駅」は一の橋方向になります。学校方面への出口は十番稲荷神社のすぐ近くになります(A3出口)。ここから鳥居坂下に出て、十番温泉前を通り暗闇坂の登り口手前を右に曲がると近道

になります(経路図参照)。途中緩やかな坂がありますが、約一五分の道程になります。慣れれば意外に便利かと思えます。

系統は管団南北線(九月二六日開通王子・市ヶ谷・溜池山王・麻布十番・目黒)と都営大江戸線(二月一二日開通光が丘・都庁前・新宿・六本木・麻布十番・大門・飯田橋・都庁前)になります。利用できそうな方は一度試してみてください。如何でしょうか。

## 屋上開放されました

校舎棟の屋上が三年ぶりに開放されました。近年は校舎の周辺に住宅が接近し、屋上からの落下物等が近隣に迷惑を掛けるようになってきました。そのため暫く屋上を閉鎖してきた状況にあります。

しかしながら最近生徒側から屋上の開放を求める声が強くなり、自主的に屋上委員会が結成されました。学校としても生徒達と話し合いをするとともに、近隣にも理解を得られるよう検討をしてきました。その結果、住宅側の屋上手すりのさらに内側に金網フェンスを設置し、安全対策を図ることによって開放することになりました。(写真)

かつては屋上から遠く富士山が望めたそうですが、今は、視界に入るのはビル群ばかりでちよっと味気なくなりました。それでも生徒達にとっては貴重な空間です。

既に金網フェンスも取り付けられ、休み時間には仲間どうしで語り合ったりする姿が見られます。教室やグラウンドとは違った雰囲気



(関)

## 「卒業生名簿」六月発行

「麻布学園卒業生名簿(平成二二年版)」を明年六月に発行します。平成八年版の発行後四年半を経過、各期名簿幹事のご協力をい

卒業生・在校生保護者本人宛自宅送付に限らせていただいておりますのでご了承ください)

- 名簿代金 四、〇〇 円(振込手数料/国内送料は学園が負担)
- 口座名 学校法人麻布学園
- 振込先 郵便局
- 口座番号 00190-6-162294

卒業年度(在校生は学年・組)を必ずご記入ください。

明年四月末までに払込手続きを済ませた方には特価三、五〇〇円で頒布いたします。

麻布学園卒業生名簿係

麻布学園創立一〇〇周年記念 記念事業募金ご協力の御礼

平成二年一月以降募金にご協力くださった卒業生並びに学園関係者の皆様のお名前を、左記のとおりご報告いたします。ご協力誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

在校生保護者の皆様につきましては別途PTA新聞の折込報知でご報告いたしております。尚、お名前の表記については原則として新字体を用いましたのでご了承ください。

- 昭7山縣一之
- 昭14佐々木徳明
- 昭25益田祐作
- 旧教員山田直匡

引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。(大山)

## 麻布生大活躍!

クラブ活動ではなく、個人でさまざまなコンテスト、大会に参加して、優秀な成績を収めている麻布生は多くいます。今回はその一端をご紹介します。

二〇〇〇年八月に行われた全国高校化学グランプリで、高一の神原賢二郎君が銀賞を、高三の関篤史君が銅賞を受賞しました

高一の川田貴章君は、二〇〇〇年三月のヨーロッパ級ヨット競技日本選手権で準優勝し、日本代表として七月スペインで行われた国際ヨーロッパ級ヨット競技欧州選手権大会に出場しました。また九月に行われた富山国体に東京都代表として出場し、少年男子シーホッパー級S2でみごと七位入賞を果たしました。